

P R E F A C E

巻 頭 言

滋賀医科大学は昭和49年10月1日に開学されました。平成11年で25周年を迎えたこととなります。設立当初の「滋賀医科大学の構想」の冒頭には、「自然に恵まれた美しい景観に富む滋賀県で、しかも京阪神につづく大津市を中心とした広域都市圏に、新しい国立大学を創設するにあたり、その地域の特性を生かし、従来の習慣制度にとられない、新しい独自の医学の教育・研究機関を構想した」とあります。従来、主として京阪神、あるいは中京に依存していた県の医学教育と研究・医療体制からの脱却が期待された訳であります。大学の特徴を十分に打ち出しながら、地域医療に貢献しようとするものであります。

この建学の精神に沿って、努力を続けてまいりました。従来より、子どもは情報冊子を発行して参りました。それらは、職員向けまたは附属病院関連のものであり、広く一般の方々のお役に立つものではありませんでした。私どもが現在どのような活動を行い、どのような大学を目指しているかを、県民の皆様、関連の方々に、まず知っていただくことが本学の地域医療における責任を果たす第一歩であると考えました。「滋賀医大ニュース」創刊の目的であります。本冊子により、皆さま方が私どもの大学についてのご理解を深めていただき、大学が皆さまとともに歩み・発展することができれば幸いです。



編集長 北嶋和智（耳鼻咽喉科教授）

創刊によせて



設立当時の滋賀医科大学



現在の滋賀医科大学